



今できること
プロジェクト

2025-2026

学び直しと伝承

参加者
募集!

3.11メモリアルネットワーク×今できることプロジェクト

被災地視察ツアー① 岩沼市

(公社)3.11メモリアルネットワークのスタッフが同行する被災地視察ツアーを2回実施します。
第1回は、岩沼市を訪問。防災集団移転事業の成功例として知られる玉浦西地区、語り部とともに
巡る千年希望の丘 相野釜公園、災害支援拠点としての機能を目指す仙台空港を訪ねます。

岩沼市玉浦西地区

岩沼市東部地区の小中学校やコミュニティセンターなどが集まるエリアに隣接する場所に造成された防災集団移転地域。被災した相野釜・藤曽根・二野倉・長谷釜・蒲崎・新浜の6つの地区が1つに集まるコンパクトシティを実現しました。約20haの広大なエリアに、災害公営住宅や再建した戸建て住宅が立ち並んでいます。



移転事業の全容を示す記念碑の除幕式



千年希望の丘 相野釜公園

震災の津波により人が住めなくなった土地を活用し、岩沼市の沿岸約10kmにわたって整備された6つの公園の1つ。園内には、慰霊のためのモニュメントが建立されているほか、2016年4月に「千年希望の丘交流センター」が開館しています。このツアーでは、仙台平野の被災と希望を未来へつなぐ語り部の話に耳を傾けます。



シンボリックな慰霊のモニュメント



仙台空港

敷地全域が冠水し、空港ターミナルビルに旅客・周辺住民・空港従業員など約1700人が避難。日米合同救援活動「トモダチ作戦」の輸送拠点にもなりました。2012年7月には全路線が再開するまでの記録を、館内の解説パネルで紹介。ここでは、大規模自然災害に備える仙台空港が果たすべき役割について学びます。



被災直後から復旧までを伝える展示



東日本大震災の経験を根底に据え、教訓の伝承に関わる個人・団体・拠点施設が地域や世代を超えてネットワークでつながり、過去に向き合い未来へ備える意識を全国、世界と共有しながら、「災害で命が失われない社会の実現」「被災者や被災地域の苦難を軽減し、再生に向かうことのできる社会の実現」を目指して活動している団体です。



被災地視察ツアー① 岩沼市

旅行期日

2025年12月3日(水) (日帰り)

旅行代金

大人・子ども同額

1名につき 2,000円(税込)

- 募集人員／40名様(最少催行人員20名様)
- 食事条件／朝0回、昼1回、夕0回
- 集合時間・場所／8:15 仙台駅・東口バスプール
- 服装／動きやすく暖かい服装、歩きやすい靴(サンダル、ハイヒール不可)
- 持ち物／雨具等
- 添乗員／仙台駅より全行程同行します
- 利用貸切バス会社名／宮城交通

● 行程／ ※交通記入例／貸切バス ～～ 徒歩 …

8:30 仙台駅東口出発(貸切バス)～～仙台東部道路～～

岩沼市玉浦西地区視察…玉浦西地区記念碑、集会所にて(DVD視聴、意見交換)～～

11:20 千年希望の丘交流センター(いわぬま震災語り部の会ガイドによる津波避難丘・慰霊碑など相野釜公園見学)～～

12:50 仙台空港ビル・昼食(Airport Restaurant TREGION GALLEY)、14:00 仙台空港施設見学と講話、買い物～

16:15 仙台空港出発～～17:15 仙台駅東口着、解散

参加条件

- ① 当プロジェクトの趣旨に賛同し、理解を深めたい方。
 - ② 当日撮影する写真と映像が、新聞・特設HP・SNSに掲載されることをご了承いただける方。※未就学児の参加はご遠慮ください。
- ※応募多数の場合は抽選となり、お申込みサイト(たびと)にて「2025年11月13日(木)～11月20日(木)」の期間で当選発表します。結果ご確認の上、ご当選された方は期日までにお申込みサイト(たびと)にて、購入手続きをお願いします。ご入金が確認でき次第、正式に「お申込み完了」とさせていただきます。2025年11月26日(水)までに「最終旅行案内」をご登録いただいたメールアドレス宛にお送りいたします。※ご提供いただいた個人情報は、お客さまとの連絡に使用いたします。また、当プロジェクトを主催する河北新報社へ提供いたします。

参加ご希望の方は

ご契約は本紙面のみでは承っておりません。詳しい旅行条件は二次元コードからアクセスいただく先の書面をご確認の上お申し込みください。

二次元コードからのお申し込み→二次元コードからアクセスいただき、JTBお申し込みサイト(たびと)よりお申し込みください。大変恐れ入りますが、本ツアーはお電話でのお申込はお受けしておりません。何卒、ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。



企画・実施・問い合わせ

株式会社JTB仙台支店

観光庁長官登録旅行業第64号 (一社)日本旅行業協会正会員

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービルディング2階
TEL 022-263-6712 (平日9:30～17:30、12月30日～1月3日年末年始休)
FAX 022-263-6693
総合旅行業務取扱管理者：陶山貴史 担当者：新谷芽生

私たち賛同企業も、被災地再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHJ/アサヒビール 東北支社/石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校/花王/キューアンドエー/麒麟ビール 東北第1支社/ケーズデンキグループ・デンコードー/光輝ビルテクノス/神戸製鋼所東北支店/こくみん共済 coop 宮城推進本部/サッポロビール サントリー 東北営業本部/JFEスチール仙台製造所/JTB 仙台支店/住友不動産/生命保険協会 宮城県協会/仙台アンパンマンこどもミュージアム&モール/仙台環境開発/大和証券 仙台支店/大和電設工業/椿本興業/DICグラフィックス/伝承千年の宿 佐勘 東急リパブル/東伸環境/日本製紙/日本製紙クレシア/日本損害保険協会/日本郵便 東北支社/ネクステージ/野村不動産 仙台支店/東日本油化工業/平松剛法律事務所/藤崎/富士フィルムグラフィックソリューションズ/三井住友海上/三井不動産 三菱地所グループ/三菱重工機械システム/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城交通/みやぎ生協/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 宮城支社/Rethink PROJECT (順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、気仙沼市、岩沼市、東松島市、宮城県市長会、宮城県町村会、気仙沼市教育委員会

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索



facebookページもあります。

今できることプロジェクト企画・制作



河北新報社 営業局

お問い合わせ | 今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部)
tel 022-211-1318